



おいしい ボタニカル アート

食を彩る植物のものがたり

英国キュー王立植物園
Royal Botanic Gardens, Kew

秋田市立千秋美術館
AKITA SENSU MUSEUM OF ART

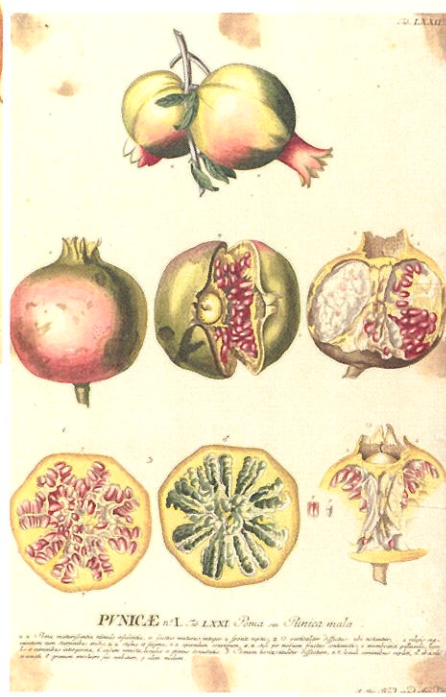
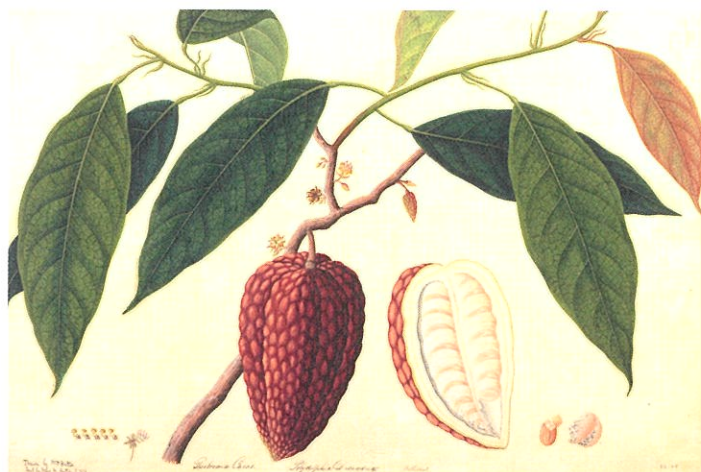
会期中無休
開館時間=10:00~18:00(入場は17:30まで)
主催=秋田市立千秋美術館、
ABS秋田放送
特別協力=英国キュー王立植物園
後援=ブリティッシュ・カウンシル、
秋田魁新報社、NHK秋田放送局、
AKT秋田テレビ、AAB秋田朝日放送、
エフエム秋田、CNA秋田ケーブルテレビ
協力=日本航空、アトリオン音楽ホール、
仲小路振興会
企画協力=プレゼントラスト

1|無名の北インドの画家、もしくは(おそらく)中国の画家(過去にゴッホ、
ヘンリ)|1810年代に活躍|の作品とみられる|カカオ|1810年頃|グッ
レ、紙、2|アムステルダム|ライオン|1809年頃|グッレ、水彩、(おそらく)ア
ビエム、紙、3|シムセア・マコガ・リッター・ファン・ブレンダ|1837年
頃|1788~1803年頃|エンダレー・グッレ、手彩色、紙、4.5|グ
ク・ディ・オニシウス・ニール|1771年|エンダレー・グッレ、手
彩色、紙、6|レダナム・タースト・ニードラズ|1788年頃|ア
ン・グッレ、手彩色、紙、7|ウィリアム・フッカー|1818年|ス
ティップル・グッレ、手彩色、紙、8|1818年|ス
ティップル・グッレ、手彩色、紙、9|ウィリアム・フッカー|1818年|ス
ティップル・グッレ、手彩色、紙、10|ウィリアム・フ
ッカー|1818年|ス
ティップル・グッレ、手彩色、紙、11|ウィリアム・フ
ッカー|1818年|ス
ティップル・グッレ、手彩色、紙、12|ウィリアム・フ
ッカー|1818年|ス
ティップル・グッレ、手彩色、紙、13|ジョゼフ・マ
コガ・リッター・ファン・ブレンダ|1788~1803年頃|
グッレ、手彩色、紙、14|ジョゼフ・マコガ・リッター・ファン・ブ
レンダ|1788~1803年頃|グッレ、手彩色、紙、す
て部分/1.2.3.4.5.11.13.14|キュー王立植物園 ©The Board of
Trustees of the Royal Botanic Gardens, Kew [6.8]個人蔵 Photo
Brain Trust Inc. [7.9.10.12]個人蔵 Photo Michael Whiteaway

2025 4.26 sat. 6.22 sun.

18世紀から19世紀、イギリスは諸外国との貿易や国内の経済発展などにより、世界中の新しい植物が導入、栽培されました。紅茶やスパイス、カカオなどの新たな植物によってイギリスの食文化は多様化し、一般家庭でも食への関心が高まります。

本展では、18世紀来のイギリス王室ゆかりの庭園で、22万点ものボタニカル・アート(植物画)を有するキュー王立植物園の協力のもと、野菜や果物、ハーブといった食用の植物を描いたボタニカル・アートを紹介します。さらに当時のティー・セットなどの食器や、ベストセラーとなったレシピ本なども展示することで、食を彩る植物のものがたりをたどりながら、イギリスの歴史や食文化、生活様式を紐解きます。



2025
4.26 Sat.
6.22 Sun.



1|無名の北インドの画家、もしくは(みそら)中国の画家(過去にジェネット・ハットン[1810年代に活躍]の作品とみなされる)「カカオ」1810年頃[ガッシュ、紙、2]|クラストファー・ドレッサー(デザイン)、ミントン「コーヒーカップ&ソーサー」1875年頃[磁器、3]|R&S グラード「ブドウ樹コンポート(御付き皿)」1868年[銀、ガラス、4]|ダウダク・ディオン・ニコラス・ニール「ザクロ」1771年[エンブレイディング、手彩色、紙、5]|あそら「インドの画家(ジェネット・ハットン[1810年代に活躍]の作品とみなされる)「コレック」1810年頃[ガッシュ、紙、6]|ウィリアム・フッカー「イチゴ「ワイルド・ストロベリー」」1818年[スタンプ・エンブレイディング、アquarell、手彩色、紙、7]|ウィリアム・フッカー「ブドウ「ブラック・ブドウ」」1818年[スタンプ・エンブレイディング、アquarell、手彩色、紙、8]|ウィリアム・フッカー「リンゴ「ジョージ・リンゴ」」1818年[スタンプ・エンブレイディング、アquarell、手彩色、紙、9]|ニコラス・カルベール「カルベール・薬草大全」1814年(初版1653年)[エンブレイディング、手彩色、紙、14.5]キュー王立植物園 ©The Board of Trustees of the Royal Botanic Gardens, Kew [2.3.6.7.8]個人蔵 Photo Michael Whiteway [9]個人蔵 Photo Brain Trust Inc.

関連事業

- 1 | ミュージアムコンサート
「ピアノで聴くイギリスの調べ」
日時=6月14日[土]午後2時開演
(45分程度)
出演=小澤叶恵氏(ピアノ)
会場=千秋美術館2階展示室
*申込不要、観覧会チケットが必要
- 2 | ワークショップ「果実を描く」
日時=5月24日[土]午後2時-午後4時
講師=大関智子氏
(日本画家・秋田公立美術大学助教)
会場=千秋美術館3階講堂
対象=中学生以上15名
申込=4月21日[月]
*午前9時30分より千秋美術館にて電話で受付
- 3 | 見どころスライドレクチャー
日時=5月10日[土]、6月7日[土]
各日とも午後2時より30分程度
担当=千秋美術館学芸員
会場=千秋美術館3階講堂
*申込不要、観覧会チケットが必要
- 4 | 仲小路商店街とのコラボ企画
仲小路商店街の協力店舗で本展とのコラボメニューを提供します。内容に関する詳細は、当館HPやSNSで順次紹介します。
協力店舗=ティールーム陶
仲小路コーヒー&ワイン
秋田キャッスルホテル
Branzi-no Akita

観覧料

一般1,300(1,100)円、大学800(640)円
*高校生以下は無料
*()内は20名以上の団体、前売、障がい者割引、「春の院展」および秋田県立美術館との相互割引料金
*前売券販売所=秋田市立千秋美術館、さきかけニュースカプ、ローソンチケット(Lコード:22253)

秋田市立千秋美術館

AKITA SENSU MUSEUM OF ART

〒010-0001 秋田県秋田市中通二丁目3-8(アトリオン)
Tel. 018-836-7860
Fax. 018-836-7862



[電車]JR秋田駅下車 西口徒歩約5分
[飛行機]秋田空港よりリムジンバスで約40分、タクシーで約30分
[車]秋田自動車道 秋田中央ICから車で約15分

*専用駐車場はありません。最寄りの有料駐車場をご利用ください。
*車いすで来館の方はご相談ください。

